

特別史跡「藤原宮跡」の国営公園化

【担当省庁】国土交通省

檀原市における取組

特別史跡「藤原宮跡」は、名勝「大和三山」に囲まれた我が国の政治経済の礎を築いた宮殿遺跡です。

そして、東アジアにおける律令国家の成立を、世界で唯一示す極めて重要で、価値の高い文化遺産であることから、「**飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群**」の構成資産の一つとして、平成19年1月に世界遺産暫定一覧表に記載され、奈良県、桜井市、明日香村とともに**令和7年の世界遺産登録**を目指しています。



藤原京復元模型

季節の花々の植栽や、藤原宮朝堂院南門などの4門の位置に朱塗り柱を設置し、暫定的な整備を行い周知啓発に努めています。



コスモスと耳成山



藤原宮朝堂院南門位置に建つ朱柱から大和三山香具山を望む

東アジアにおける律令国家の成立を物語る、世界史上極めて重要な文化遺産の国営公園としての整備が求められています。

国にお願いすること

世界遺産登録を目指している特別史跡「藤原宮跡」の利活用を図るため、国営公園化の促進をお願いします。



「元日朝賀の儀」

701年、藤原宮大極殿において、文武天皇が国を治める全てが備わったことを宣言した様子 (藤原京復元CG)